

NEWS はりきゅう

-漢方内科 鍼灸治療室-

Vol. 03

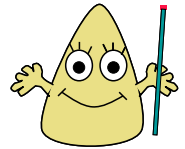
2020年07月号

作成:川越 有紀(鍼灸師)

ようこそ、
鍼灸の世界へ!

今回のテーマは
「刺絡について」

刺絡（しらく）、吸い玉。



イメージアップキャラクター
お灸ちゃん

鍼灸治療の目的は、東洋医学的というと身体の気・血・水を巡らす事にあります。「刺絡」とは、皮膚に微小な傷をつけて滞った血液を除去し、微小循環の改善を図る療法です。治療部位としては、主に細絡（体表近くに浮き出た毛細血管）や硬結（筋緊張の強い部位）、井穴（爪根部の角にあるツボ）があり、治療目的に応じて部位を選択します。

～刺絡の種類～

・細絡刺絡（さいらくしらく）

外傷後の部位や関節周囲に多い。
細絡は時間をかけて形成される為、
主に慢性症状に対して行います。

・硬結刺絡（こうけつしらく）

僧帽筋や肩甲挙筋、脊柱起立筋上に多い。筋緊張には個人差もありますが、左右差があれば明瞭とみます。

・井穴刺絡（せいけつしらく）

ツボの経路上にある症状に対して
古典を参考にアプローチします。

細絡の所見



範囲を有する部位は、
吸い玉(吸角)を用います

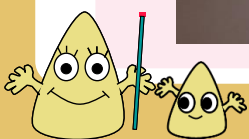


新・イメージアップ
キャラクター
スイダマン。

井穴刺絡



細絡・硬結刺絡



次号は灸頭鍼についてご紹介します。